



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社  
 コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 諸橋 友良  
 (氏名) 中村 和彦  
 TEL 03-6870-6008  
 配当支払開始予定日 平成30年12月10日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	116,437	0.3	5,548	20.7	6,137	16.2	3,433	7.8
30年3月期第2四半期	116,789	3.4	6,993	27.2	7,321	51.5	3,724	51.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 2,981百万円 (20.1%) 30年3月期第2四半期 3,729百万円 (48.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	76.92	76.75
30年3月期第2四半期	83.34	83.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	180,302	121,301	67.0	2,724.42
30年3月期	188,131	119,682	63.3	2,665.51

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 120,766百万円 30年3月期 119,180百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		17.50		17.50	35.00
31年3月期		17.50			
31年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,917	0.3	8,505	22.1	8,985	21.1	3,173	25.3	71.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	47,911,023 株	30年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	3,583,692 株	30年3月期	3,199,002 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	44,634,970 株	30年3月期2Q	44,687,371 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の実績はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調で推移しておりますが、個人消費の先行きに対しては引き続き不透明な状況にあります。

スポーツ用品販売業界におきましては、健康志向とスポーツへの関心が高まる環境も継続しているものの、記録的な猛暑や豪雨、台風の影響により、屋外スポーツにとっては厳しい気象環境となりました。

このような状況下、当社グループは、品揃え強化施策のもと増加傾向にあった在庫を、一部商品の見切り販売等を行うことで適正化を図り、当第2四半期でトレンド転換を達成いたしました。当社グループの主力エリアの一つである北海道で発生した北海道胆振東部地震や先に述べた厳しい気象環境の影響を受ける結果となりました。

国内小売事業では、リアル店舗の強みである接客の強化や品揃えの差別化に努めるとともに、今一度「創業時に抱いていた理念」を全従業員が再び共有し、「社会におけるゼビオグループの存在価値」を意識した業務遂行を可能にする環境整備に努めました。新規出店につきましては、既存店への業態追加を中心に国内外で42店舗を出店し12店舗を閉店しました。

ゼビオグループは、現業の堅実な成長を下支えする生産性の更なる向上と全体最適を意識した業務効率化の推進を企図した組織体制の再構築に取り組みました。また、スポーツ周辺事業との融合によって得られる新たな価値をお客様に提供することが、私たちに求められる社会的役割と認識し、将来価値創造の源泉であるスポーツコングロマリット構想の拡大と深耕を目的とした、グループが有するアセットの再編にも着手いたしました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間末におけるグループの総店舗数は、802店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて606坪増加して192,495坪となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高1,164億37百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益55億48百万円（前年同期比20.7%減）、経常利益61億37百万円（前年同期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益34億33百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

## 〔主な商品部門別の営業概況〕

## ＜ゴルフ用品・用具部門＞

ゴルフ用品・用具は、新規顧客の獲得と接客率向上に注力したものの、不要不急の外出を控えることが推奨されるような記録的猛暑や豪雨、台風、地震といった自然災害が多く発生したことがプレイ環境に影響を及ぼし、低調に推移いたしました。

以上の結果、ゴルフ用品・用具部門の売上高は、前年同期比0.9%の減少となりました。

## ＜一般競技スポーツ・シューズ部門＞

一般競技スポーツでは、品揃えの強化や特定カテゴリーの売場強化に注力したものの記録的猛暑の影響もあり、低調に推移いたしました。

以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比3.6%の減少となりました。

## ＜スポーツアパレル部門＞

スポーツアパレルでは、季節やスポーツシーンに合った商品提案が奏功し、好調に推移いたしました。

以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比6.9%の増加となりました。

## ＜アウトドア・その他部門＞

アウトドア・その他部門は、タウンユース向け商品が堅調に推移したことに加え、避暑用小物が好調だったこともあり、好調に推移いたしました。

以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比2.8%の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ78億29百万円減少し1,803億2百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金や商品の減少などにより前連結会計年度末に比べ流動資産が68億56百万円減少し1,130億75百万円となったこと、固定資産が前連結会計年度末に比べ9億72百万円減少し672億26百万円となったことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、支払手形及び買掛金の減少などにより前連結会計年度末に比べ94億48百万円減少し590億円となりました。また、純資産の部は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が26億50百万円増加したことなどにより1,213億1百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、143億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億92百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億38百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を59億10百万円計上したこと、たな卸資産の減少による資金の増加額が41億89百万円、仕入債務の減少による資金の減少額が84億1百万円、売上債権の減少による資金の増加額が8億90百万円、法人税等の支払額が40億3百万円などです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億35百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出11億68百万円などです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億59百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額が7億81百万円、自己株式の取得による支出が6億15百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が1億52百万円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年11月6日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,563	14,371
受取手形及び売掛金	19,902	19,012
営業貸付金	1,715	1,663
商品	74,633	70,344
その他	7,655	8,255
貸倒引当金	△537	△571
流動資産合計	119,932	113,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,717	48,127
減価償却累計額	△32,323	△32,968
建物及び構築物(純額)	15,394	15,158
土地	15,463	15,740
リース資産	3,396	3,422
減価償却累計額	△1,309	△1,411
リース資産(純額)	2,087	2,011
建設仮勘定	126	132
その他	17,980	18,337
減価償却累計額	△15,198	△15,489
その他(純額)	2,781	2,848
有形固定資産合計	35,853	35,891
無形固定資産		
のれん	2,662	2,371
ソフトウェア	1,409	1,360
その他	1,555	1,395
無形固定資産合計	5,627	5,127
投資その他の資産		
投資有価証券	1,157	1,240
長期貸付金	31	30
繰延税金資産	4,426	4,205
差入保証金	3,440	3,145
敷金	14,270	14,154
投資不動産	3,114	2,974
減価償却累計額	△1,333	△1,203
投資不動産(純額)	1,780	1,771
退職給付に係る資産	636	694
その他	1,282	1,303
貸倒引当金	△307	△337
投資その他の資産合計	26,718	26,207
固定資産合計	68,198	67,226
資産合計	188,131	180,302

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,336	14,214
電子記録債務	27,339	21,060
未払法人税等	3,057	2,141
賞与引当金	1,280	1,238
役員賞与引当金	15	7
ポイント引当金	1,580	1,576
その他	10,739	10,603
流動負債合計	60,349	50,842
固定負債		
長期借入金	75	65
リース債務	2,455	2,386
繰延税金負債	91	91
退職給付に係る負債	808	835
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,190	4,192
その他	418	528
固定負債合計	8,099	8,157
負債合計	68,448	59,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,136	16,136
利益剰余金	92,038	94,689
自己株式	△5,693	△6,308
株主資本合計	118,417	120,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309	263
為替換算調整勘定	701	288
退職給付に係る調整累計額	△248	△238
その他の包括利益累計額合計	762	313
新株予約権	480	506
非支配株主持分	21	29
純資産合計	119,682	121,301
負債純資産合計	188,131	180,302

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	116,789	116,437
売上原価	69,273	70,012
売上総利益	47,516	46,424
販売費及び一般管理費	40,522	40,876
営業利益	6,993	5,548
営業外収益		
受取利息	44	58
受取配当金	11	6
為替差益	65	217
不動産賃貸料	353	443
業務受託料	176	164
その他	238	211
営業外収益合計	890	1,101
営業外費用		
支払利息	1	3
不動産賃貸費用	332	343
業務受託費用	158	153
その他	70	12
営業外費用合計	563	512
経常利益	7,321	6,137
特別利益		
固定資産売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	51	63
減損損失	203	26
災害による損失	—	130
投資有価証券評価損	236	—
店舗閉鎖損失	36	11
その他	1	—
特別損失合計	529	232
税金等調整前四半期純利益	6,791	5,910
法人税、住民税及び事業税	3,077	2,243
法人税等調整額	△10	236
法人税等合計	3,066	2,479
四半期純利益	3,724	3,430
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,724	3,433



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	3,724	3,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△45
為替換算調整勘定	△49	△413
退職給付に係る調整額	18	9
その他の包括利益合計	4	△449
四半期包括利益	3,729	2,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,728	2,984
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,791	5,910
減価償却費	2,277	1,929
減損損失	203	26
のれん償却額	305	281
貸倒引当金の増減額(△は減少)	84	64
賞与引当金の増減額(△は減少)	158	△41
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59	27
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△52	△58
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△55	△65
支払利息	1	3
投資有価証券評価損益(△は益)	236	—
固定資産除却損	51	63
災害損失	—	130
売上債権の増減額(△は増加)	500	890
営業貸付金の増減額(△は増加)	48	52
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,275	4,189
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,225	△8,401
未払金の増減額(△は減少)	△269	△665
その他	△2,304	72
小計	△469	4,397
利息及び配当金の受取額	30	41
利息の支払額	△1	△3
法人税等の支払額	△3,488	△4,003
法人税等の還付額	800	306
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,128	738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,072	△1,168
有形固定資産の除却による支出	△61	△44
無形固定資産の取得による支出	△712	△225
投資有価証券の取得による支出	△283	△150
投資不動産の取得による支出	△2	△2
定期預金の払戻による収入	5	—
敷金及び保証金の差入による支出	△504	△197
敷金及び保証金の回収による収入	420	627
預り保証金の返還による支出	△3	△11
預り保証金の受入による収入	12	129
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△125	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	13	—
その他	19	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,293	△1,035

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190	—
長期借入金の返済による支出	△1	△10
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△162	△152
自己株式の取得による支出	△0	△615
配当金の支払額	△781	△781
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,135	△1,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,589	△2,192
現金及び現金同等物の期首残高	25,176	16,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,587	14,371

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。